



令和7年度 中郡小学校だより

くすのき



R 7.9.30



彼岸を過ぎ、やっと暑さがやわらいできました。子供たちも、熱中症指数を気にすることなく、運動場で思い切り遊ぶことができるようになります。

さて、2学期がスタートして約1か月が過ぎました。子供たち一人一人が、自分なりに秋を実らせようと、目当て(なりたい自分)に向かって、日々、学習や運動を頑張っています。引き続き、確かな児童理解に基づく寄り添いと温かな言葉かけ、保護者・地域の皆様との連携を基盤として、学校教育目標「ともに輝き合う」の具現に向け、一人一人が安心して学び、活動することができる学校づくりに努めてまいります。学校と家庭、地域が協働して、子供たちの健やかな成長にかかわっていくことができますよう、御支援と御協力をお願い申し上げます。

自分の成長につなげる

10月3日(金)、4~9月までの学習への取組の様子をお知らせする「あゆみ」を渡します。「あゆみ」には、次のような思いを込めています。



あゆみの「あ」は、新しい目標を見つける



あゆみの「ゆ」は、夢をかなえる力を身に付ける

あゆみの「み」は、魅力ある自分に出会う(自分の得意やよさを知る)

御家庭でも、是非、お子さんの頑張りやよさを認め励ます言葉掛けをお願いします。

「あゆみ」が、一人一人の子供にとって、成長や自分磨きにつながる一助となることを期待しています。

温かい心が育まれています ~HEROな行動③~

先日、地域の方から「中郡小の子供たちは、本当にいい子たちですね。地域でゴミ出しをしていると、集積所の扉をすっと開けてくれたり、時には「手伝うよ」といってごみを運んでくれたりするんですよ。やってあげているという感じではなく、本当に自然に手伝ってくれます。いつも感心しています。」「地域で会うと、にこにこして挨拶をしてくれます。おかげで元気をもらっています。」「朝、旗振りをしていると、どの子も気持ちの良い挨拶をしてくれます。素晴らしいですね。」という嬉しい言葉をいただきました。これらの姿は、学校と地域・家庭が協働して子供たちを育んでいることの成果だと思っています。他者に关心をもち気遣ったり、人のために行動したりすることができる子供たちの姿を大切にしながら、これからも一人ひとりの心を育んでいきたいと思います。

(校長)